

ほほえみ 第40号



先月は、関東や西日本で積雪が多く、その割には盛岡は積雪が少なく拍子抜け？した感じもありましたが、陽射しも春めいてましたし、ほほえみ読者の皆様方も、冬から春の心持ちでいらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。地道にニュースレターを続けてきましたが、40号を迎えることができました。毎回、内容に関しては、悩んでいます何が月末に書き上げています。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

岩手県の地域がん登録から

先日、岩手県、岩手県医師会から「平成22年 岩手県地域がん登録事業報告書」が送られてきました。統計が多数の表やグラフで表示されていて、膨大なデータなのですが、かいつまんで記載したいと思います。

平成22年度の、岩手県の全がん罹患患者数は、10,048名（男性5,689名、女性4,359名）でした。部位別では、大腸（結腸と直腸）が1,989名で最も罹患数の多いがんであり、罹患数の二位は胃がんで1,489名、三位が肺がん、1,075名でした。以下、乳がん、前立腺がん、膵がんの順となっています。

がんの発生が多いか否かは、年齢構成によっても発症率が変わるので、異なった地域ごとを比較するには、年齢調整罹患率というものが使われます。人口10万対での全がんの年齢調整罹患率を見ると、岩手県では380.8人となっていますが、全国の推計値は366.3人なので、全国平均と比較して4%程度高いというデータです。すなわち、全国平均より若干ながら、がんの発生が多いということになります。

がん検診等での発見例の割合を見ると、全国では13.9%なのですが、本県では18.5%ですので、がん検診によってがんが発見されている率が高いという結果になっており、全国47都道府県中で、がん一次検診受診率が5位にランクされているので、検診率は高い県となっています。結果的に見つかったがんの内訳も、進行がんよりも限局がんが多くなっています。がん検診の重要性を裏付けるようなデータです。これを、もう少し詳しく説明します。

以下に大腸がんの発見の経緯と、がんの進行度に関するデータを示します。検診群では、限局がんの割合が76.5%、進行がんは19.2%なのですが、外来群では、限局がんが46.0%、進行がんが46.0%と大きな開きがあります。これは、明らかに、検診で見つかるがんの方が、何か症状があってから病院に行つて見つかるがんより、進行が早期に近いものが多いということです。子宮がん、乳がん、胃がん、肺がんなどの他のがんにおいても、総じてがん検診で見つかるがんの方が進行がんは少なくなっています。大体的に、10から20パーセント、進行がんが減っています。

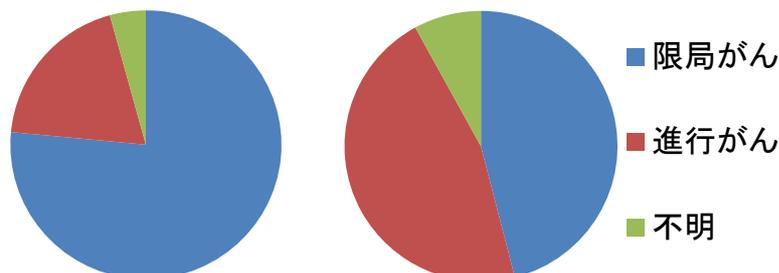
全国的に、胃がん、肝がん、子宮がんは減少傾向のようですが、そのほかは増加傾向のがんが多いので、がんにかからないような生活習慣も大切ですし、やはり、がん検診を含めた、がんを見つける努力が、大切なのだなあと感じています。

当科の外来に、冊子がありますので、興味がある方はおっしゃってください。

大腸がんの場合

検診群

外来群



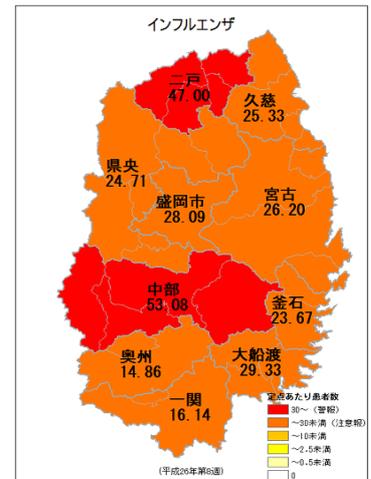
今年のインフルエンザは・・・

今年のインフルエンザは、大流行の昨年ほどではなかったのですが、収束にはもう少し時間がかかるようです。

県内のインフルエンザの発生状況を見ると、中部地域と二戸地域で特に発生率が高めで推移しており、特にこの地域にお出かけの際には注意が必要と思われます。

A/カリフォルニア(H1N1)株、A/テキサス(H3N2)株、B/マサチューセッツ(BX-51B)株が、今シーズンは予防接種されているらしいのです。インフルエンザは変異を起こしやすいウイルスと言われているので、昨年はワクチン作成時にはなかった変異が出現し、あまりワクチンが有効に働かなかったという状況ですが、今年は例年程度には効果を見せているということでしょうか。

いずれにしても、もう少し流行期が続きそうなので、化学療法中の方は特に注意していただければと存じます。



ソチ・オリンピックで寝不足になりました

2月に行われた、ソチ・オリンピックでは、沢山の日本人選手が活躍し、羽生結弦選手が金メダルを獲得しました。葛西紀明選手が7回目のオリンピックで個人の銀メダルを獲得したり、竹内智香選手がスノーボード・パラレル大回転で、日本の女子アルペン競技初の銀メダルを獲得したり、テレビから目が離せない二週間でした。しかも、深夜で決勝が行われることが多く、寝不足になりました。皆様も、浅田真央選手の応援をしたりで、朝起きるのが辛かった方も多いのではないのでしょうか。

個人的には、カーリングの応援をしていました。序盤の黒星が響いて5位に終わりましたが、オリンピック最終予選のギリギリの状況から、進化したしぶとさを見せ、オリンピックの大舞台で素晴らしい試合をされたと思います。

ソチは暖かいらしく、Tシャツで応援している人の姿も多く、冬のオリンピック？と違和感を感じるくらいでしたが、心配されたテロも起こらず、良かったと感じています。



Wikipediaより転載

MEMO

3月のがん化学療法科の予定

- 3月3日 ひなまつり
- 3月14日 柴田教授外来
- 3月21日 春分の日
- 3月28日 柴田教授外来
新渡戸稲造記念メディカル・カフェ(予定)

